

—— 港から街への通路 ——

昭和の初め、新港突堤から市中へ出るには、東神通路、小野浜通路、棧橋通路及び京橋通路のいずれかを通らなければならなかった。各通路の要地に税関監所が置かれ、密輸の取締りに目を光らせていた。



棧橋通路

現在の阪神高速道路、京橋インター付近、臨港線の踏切。



東神通路

現在の三井桟橋前、浜側から山手を望む。



小野浜通路

現在の本庁舎前、税関監所と鉄橋があった。



京橋通路 (大15.2)

京橋から第一波止場を望む。右側建設中の建物は、現神戸税関本庁舎。



市電税関線

昭和8年1月単線で開通、翌9年9月複線となる。昭和41年5月神戸市電の撤去第1号として姿を消した。